



radio Camnetに続くマガジン版

心身健全

大規模ワールドへようこそ

CAMNET マガジンをお楽しみの皆さま。2017年がやってきました。この号は新年号(1-2月号)ですね。今年は酉年、さて、どんな一年になるのでしょうか？

radio Camnetの「心身健全！」も4月になりますと9年目を迎えます。今の予定では4月以降も継続するつもりです。いつも3時間くらいの長い番組になっていますが、大概のオリジナル曲を10曲程度、そして頂戴したお便りを紹介しながら、どんな街から送って頂いたのかななどをトークで織り交ぜ、さらに医学医療関係の話題も、教室(川崎医科大学衛生学)の研究内容とか、学会などで行った街の様子なども含めてお話をさせてもらっています。こちらも今後とも是非、よろしくお願致します。

さて、2017年11月にiTunesリリースでシングルを発売しました。これまで3枚のアルバムをリリースしてきましたが、今回はシングル曲です。

これには事情がありまして、2015年夏に知り合った蛭名玲子(Dr. Ryoko Ebina)博士(保健学)という方がいらっしゃいます。【米国ミシガン州立大学卒業後、ミシガン州立大学大学院にて修士号(コミュニケーション学)、東京大学大学院医学系研究科にて博士号(保健学)を取得する。困難を乗り越える力SOC研究を実践に活かしている数少ない健康社会学者であり、明快な講演やコンサルティングは好評を博している】という方です。実は、2015年7月に「健康価値創造勉強会」というのが東京の順天堂大学で行われていて、大概もその時「マイナス荷電粒子優位な室内環境の生体影響」という演題で、1時間くらいの講話をさせてもらったのですが、蛭名先生もやはり「Salutogenesis: 過酷な環境に置かれても健康を維持できる人がいるのは、なぜ？」というタイトルの講話をされました。その時以来のおつきあいです。

その時は蒸し暑い夏の夕刻で、また、大概はその後、埼玉県和光市に移動でもあったのですが、順天堂の公衆衛生学教室のコンファレンス室に行く前に、近くの元町公園で少し「ブラ@タケミ」していました。



で、この蛭名先生が2016年11月に7つ目の著書である「生き抜く力の育て方」という書籍を出版されて、初めて出版記念講演会を開催されました。



で、ご招待を受けて、では「出版記念にオリジナル曲でも作りましょうか？」って・・・ちょっと冗談半分に投げかけたら、「キャー、嬉しい、是非!!!」ってことになって、オリジナル曲を作ってCDにして・・・かつ、出版記念講演会では、その後の懇親会でピアノ弾き語りをしたのでした。



そして、なかなかいい曲になったのでiTunesで急遽シングルとしてリリースしたのでした。



iTunesやAmazon、Apple Music、google playなどで「生き抜く力」、あるいは「大概剛巳」で検索してください。

そして、今回、歌詞を紹介しておきます。

生き抜く力—inspired from Dr Ryoko Ebina—

風が 小さく ささやくように
目覚めたばかりの 今日に 願いを込める
あなたとならば ささやかな 日々を 積み重ねて

少しずつ 一歩ずつ 歩いて行ける
桜の花びらが 舞い始める 夜明けにも
連なる天の川 巡り会えた 二人にも
黄金に 輝く 稲穂が たわわに 実ったら

真白く広がる 樹氷に 静謐を誓う
扉を叩いた その先に 私の 生き抜く力

雲が 優しく 背中を押して
広がる草原 遠く 地平を越える
みんなとならば 面影を そっと なぞってみて

指先を 触れ合って つながって行く
土筆が背伸びして 受け止めてる 春の陽に
大きな向日葵に 歌いかける 夏空に
色付く 木の葉は それぞれ 違って いるのなら

風花舞い散る 舗道に 誠実を誓う
扉を開いた その先に あなたの 生き抜く力

海が 大きく 包んでくれて
波間に揺れる 想い 希望に染まる
一人ひとりの 私から あなた そしてみんなへ

見つめれば 信じれば 何かが変わる
篠突く雨でさえ 深く大地 染みこんで
焼けつく太陽も 生きる種を 育て
木枯らし 心が 震えて 涙が 溢れても

雪解け水にも 明日の 微笑みを誓う
扉を抜ければ その先に みんなの 生き抜く力

扉を叩いた その先に 私の 生き抜く力



radio Camnetに続くマガジン版

心身健全

大規模ワールドへようこそ

Scenes in Seasons



オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール

大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授
0歳:京都府福知山市にて生誕
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳:倉敷市に転居
15 & 18歳:NHKあなたのメロディー出演
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳:川崎医科大学卒業
以降:川崎医科大学血液内科へ衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年:米国留学(医学研究)
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当
現在に至る